事業番号 1-2

平成28年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	核兵器廃絶都市宣言事業	事業開始年度	昭和57年
上位施策事業名	市民と行政との協働によるまちづくり	担当局・部名	総務部
根拠法令等	核兵器廃絶都市宣言、原水爆禁止加古川市協議会会則	担当課･係名	総務課総務係
事務区分	■自治事務　□法定受託事務	作成責任者	稗田　清人

実施の背景

昭和29年にアメリカにより実施された水爆実験に対する抗議運動から、翌年に原水爆禁止日本協議会が設立された。このことを受け本市においても、人類共存の世界平和を実現するための運動を目的とする、原水爆禁止加古川市協議会が設立され、核兵器廃絶に向けた啓発活動を実施している。また、昭和57年に市議会の議決を得て「核兵器廃絶都市」を宣言し、平成22年には核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を目指す「平和首長会議」に加盟した。

目　的（何をどうしたいのか）

一人でも多くの市民に被爆の実相についての理解を深め、核兵器廃絶への強い思いを持ってもらうとともに、非核平和に向けた願いを次世代に引き継ぐための啓発活動を行う。

事業概要

対　象（誰・何を対象に）

市民、市内の小学生（４年～６年）及び中学生

対象者数（全住民に対する割合）	
267,431　人	（　100　％　）

実施方法

□直接実施

□業務委託 又は □指定管理　（委託先又は指定管理者：　　）

■負担金　（負担先：原水爆禁止加古川市協議会、平和首長会議）

□貸付（貸付先：　　）□その他（　　）

事業内容（手段、手法など）

	事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標
原水爆禁止加古川市協議会	広島平和の親子バスツアーの実施（8月）	1,102	千円	バスツアー募集要項配布数・募集人数・バスツアー実施回数
	広島市、長崎市平和祈念式への代表派遣（8月）		千円	
	平和行進受入（7月）		千円	
	協議会開催（4月）		千円	
	原爆写真展の開催（8月）		千円	開催箇所数
	核兵器廃絶宣言都市啓発懸垂幕及び横断幕の掲示（6～8月）		千円	
平和首長会議	負担金		千円	

関連事業（同一目的事業等）

小・中学校修学旅行

コスト

	28年度（予算）	27年度（決算）	26年度（決算）	25年度（決算）
事業費合計	1,302 千円	1,102 千円	1,300 千円	1,300 千円

事業費内訳（平成27年度分）

原水爆禁止加古川市協議会 負担金　1,100千円
【収入】
・繰越金385千円
・バスツアー参加費400千円
【支出】
・バスツアー1,361千円（内旅行代金1,249千円、感想文集作成81千円、募集要項作成20千円、かたりべ謝礼・写真代11千円）
・祈念式代表派遣471千円（内旅行代金371千円、見舞金100千円）
・平和行進受入44千円（内賛助金30千円、賄い費14千円）
・協議会開催2千円（郵送料1千円、賄い費1千円）、その他7千円（内消耗品5千円、繰越金2千円）

平和首長会議 負担金　2千円

人件費	28年度（予算）			27年度（決算）			26年度（決算）			25年度（決算）		
担当正職員	0.05	人	382 千円	0.05	人	382 千円	0.05	人	382 千円	0.05	人	382 千円
臨時職員等	0.05	人	95 千円	0.05	人	95 千円	0.05	人	95 千円	0.05	人	95 千円
人件費合計	0.1	人	477 千円	0.1	人	477 千円	0.1	人	477 千円	0.1	人	477 千円
総事業費	1,779 千円			1,579 千円			1,777 千円			1,777 千円		

財源内訳

	28年度（予算）	27年度（決算）	26年度（決算）	25年度（決算）
国県支出金	千円	千円	千円	千円
国県支出金の内容				
地方債	千円	千円	千円	千円
その他特財	千円	千円	千円	千円
その他特財の内容				
一般財源	1,779 千円	1,579 千円	1,777 千円	1,777 千円
財源合計	1,779 千円	1,579 千円	1,777 千円	1,777 千円

事業番号 1-2

平成28年度

事業シート（概要説明書）

予算事業名	核兵器廃絶都市宣言事業	事業開始年度	昭和57年

		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度
事業実績	活動実績	広島平和の親子バスツアー募集要項配布数（市内の小学生（４年～６年）及び中学生）	人	16,332	16,765	17,260
		広島平和の親子バスツアー募集人数	人	80	80	80
		原爆写真展の開催箇所数	箇所	3/3	3/3	3/3
	単位当たりコスト	広島平和の親子バスツアー費（参加費差引） ／ 募集人数	円	12,005	11,085	10,160

事業成果	成果目標（指標設定理由等）	核兵器廃絶と恒久平和への願いを市民と共有し、次世代に引き継いでいく必要がある。その具体的な働きかけとして、被爆の実相に触れる広島平和の親子バスツアーや原爆写真展を実施しているため、その参加者数等を成果指標として設定している。

		【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	H27年度	H26年度	H25年度
事業成果	成果（目標達成状況）	広島平和の親子バスツアー参加者数（申込者数）	人	80(124)/80	72(92)/80	81(113)/80
		広島平和の親子バスツアー感想文集発行冊数	冊	120/120	136	140
		原爆写真展閲覧者数	人	500	520	510

事業の自己評価	事務事業評価結果	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 原爆写真展の開催や、広島平和の親子バスツアーに参加された親子が、核兵器や戦争の悲惨さ、平和の尊さについて語り合い、また文集発行により参加者以外にも思いを伝えることで、核兵器廃絶に向けた市民の意識高揚に一定の寄与ができたと考えている。
	今後の事業の方向性、課題等	市レベルでできる活動は小さいものかも知れないが、これをきっかけとして核兵器の廃絶や戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する市民の認識を深め、意識を風化させることなく次世代に語り継ぐべく、本事業は継続して実施していく必要がある。 一方で、戦争体験世代の減少や高齢化が進む中、被爆された方と直接対面して、体験を聴ける機会は貴重となってきている。原爆の恐ろしさ、平和の大切さを次代を担う世代へどう効果的に継承していくかが課題となっている。
比較参考値（他自治体での類似事業の例など）		【加古川市】 広島平和の親子バスツアー（募集人数：80人[市内在住の小学校４年～中学校３年の子と親]） 1泊2日（5千円）…資料館・原爆ドーム・追悼平和祈念館見学、被爆体験講話 【西宮市】 親子広島バスツアー（募集人数：50人[市内在住の小学校４年～中学校３年の子と親]） 1泊2日（5千円）…資料館・原爆ドーム見学、被爆体験記朗読会、平和祈念式典参列 【加西市】 平和学習バスの旅inヒロシマ（募集人数：40人[市内在住の中学生]） 日帰り（無料）…資料館・原爆ドーム見学、被爆体験講話
特記事項		

事業番号 1-2

平成28年度

委託・指定管理・補助等　対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	核兵器廃絶都市宣言事業	事業開始年度	昭和57年
団体名	原水爆禁止加古川市協議会		
団体への支出根拠（選定経過等、支出先の妥当性）	原水爆禁止加古川協議会会則　第9条		

当該事業の団体における収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	広島平和の親子バスツアー費	1,361 千円
県からの財政支出金	千円	広島市・長崎市平和祈念式典参加費	471 千円
市町村からの財政支出金	1,100 千円	平和行進受入費	44 千円
委託料・指定管理料	千円	協議会会議費	2 千円
補助金	千円	雑費	5 千円
その他（負担金）	1,100 千円		千円
その他　（ バスツアー参加費、前年度繰越金 ）	785 千円		千円
総計	**1,885 千円**	**総計**	**1,883 千円**

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要

原水爆を禁止し、人類共存の世界平和を実現するための運動を行うことを目的として、趣旨に賛同する市内各種機関及び団体（加古川市原爆被爆者の会、市議会の各会派、町内会、婦人会等）をもって構成された組織。会長は加古川市長。活動内容は上記のとおり。

資本金		ー 千円	役職員	（単位：人）	常勤	うち（出向／OB）	非常勤	うち（出向／OB）	監事	うち（出向／OB）
	市出資金	ー 千円		役員						
	出資比率	ー %		職員						

団体全体の収支状況

収入		支出	
国からの財政支出金	千円	事業費	1,883 千円
県からの財政支出金	千円	管理費	千円
市町村からの財政支出金	1,100 千円	人件費	千円
委託料・指定管理料	千円	その他　（　　）	千円
補助金	千円	**総計**	**1,883 千円**
その他	1,100 千円		
その他　（ バスツアー参加費、前年度繰越金 ）	785 千円		
総計	**1,885 千円**	**収支差**	**2 千円**

特記事項

負債総額：　0円　　資本総額：　0円
利益剰余金（もしくは欠損金）：　0円

財務諸表URL

核兵器廃絶都市宣言

（昭和５７年３月２９日議決）

加古川市は、「８２年・平和のためのヒロシマ行動」で採択された「ヒロシマ・アピール」に賛同し、世界の恒久平和を願い、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく新しい秩序の実現を希求する。

いま、世界に核戦争の危機を感じ、これを憂う人が広がりつつある。我が国は人類最初の原爆被災国として、核戦争が人類を破滅させ得るものであることを身をもって証明した。

私たちは、人類が再び同じ過ちを繰り返さないよう核戦争の防止を求め、核兵器廃絶を強く訴える。地球上に、平和も愛もいのちも、また美しい山河を絶やさないために、加古川市を「核兵器廃絶都市」とすることを宣言し、他の宣言都市と相携えて世論を喚起し、核兵器廃絶を誓う市民の輪が我が国に、そして世界に広がることを期するものである。

原水爆禁止加古川市協議会会則

（会 則）

第１条 この協議会（以下「協議会」という。）は原水爆を禁止し、人類共存の世界平和を実現するための運動を行うことを目的とする。

（名 称）

第２条 協議会は「原水爆禁止加古川市協議会」と称する。

（事 業）

第３条 協議会は次の事業を行うものとする。

(1) 啓発宣伝活動

(2) 関係機関（団体）との協調連絡

(3) その他必要な事項

（組 織）

第４条 協議会は、本会の趣旨に賛同する市内各種機関及び団体（以下「加盟団体」という。）をもって組織する。

（会長及び副会長）

第５条 協議会に会長１名及び副会長若干名を置く。

２ 会長は、加古川市長をもってあてる。

３ 会長は会務を総括し、協議会を代表する。

４ 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する副会長がその職務を代理する。

５ 副会長は、委員の互選とする。

（委 員）

第６条 委員は加盟団体の代表者をもってあてる。

（会 議）

第７条 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

２ 定例会は、年１回とし、必要に応じて臨時会を開催する。

３ 会議の議長は、会長がこれにあたる。

（招 集）

第８条 協議会の会議は会長が招集する。

（収 入）

第９条 協議会の収入は、加盟団体の負担金、寄附金、助成金及びその他の収入をもってこれにあてる。

（出 納）

第１０条 協議会の出納は、会長が行う。

２ 協議会に属する現金は、会長が保管する。

（加 盟）

第１１条 協議会に加盟又は脱退しようとする団体は、会長に届出するものとする。

（庶 務）

第１２条 協議会の庶務は、総務部総務課で処理する。

（雑 則）

第１３条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、会長が定める。

附 則

この会則は、昭和３３年８月１７日から施行する。

附 則

この会則は、昭和５０年８月１日から施行する。

附 則

この会則は、平成１５年４月１日から施行する。

附 則

この会則は、平成２３年４月１日から施行する。

平成２７年度　事　業　報　告

1 第７０回広島市及び長崎市平和祈念式への代表派遣

（１）広島市　８月５日（水）～６日（木）　４名

（２）長崎市　８月８日（土）～９日（日）　４名

2 広島平和の親子バスツアー

（１）日　程　８月２９日（土）～３０日（日）

（２）内　容　市内の小学生（４～６年)、中学生とその親（計８０人）を募集し、参加者８０名（応募数１２４名）が、バスで広島市を訪問、「かたりべ」から被爆体験講話を聞くとともに、広島平和記念資料館や原爆ドーム等の施設を見学した。

ツアー終了後、参加者の感想文集を作成し、市民への啓発資料として活用した。

（３）参加費　１人　５，０００円

3 原爆の写真展

（１）期間及び場所

・８月３日（月）～８月１４日（金）

市役所 新館１階エントランスホール及び１０階展示・展望ロビー

・８月１日（土）～８月１６日（日）

加古川駅南まちづくりセンター

（２）内　容　協議会所蔵の「広島・長崎原爆被爆」写真パネル約５０点を展示した。

（３）備　考　「広報かこがわ」に掲載し、写真展の周知を行った。

4 核兵器廃絶宣言都市啓発懸垂幕及び横断幕の掲示

（１）期　間 及び 場　所

６月１６日（火）～８月３１日（月）

・懸垂幕：市役所新館懸垂幕掲揚塔

・横断幕：ヤマトヤシキ加古川店東側通路橋

5 その他の事業

（１）平和行進の受入れを行った。

・被爆７０年核兵器廃絶国民平和大行進（７月１２日）

・２０１５年東京～広島平和行進（７月２１日）

・第３１回兵庫県反核平和の火リレー（７月２４日）

（２）広島（８月６日）及び長崎（８月９日）の原爆の日に黙祷を捧げるよう、「広報かこがわ」に掲載して市民に呼びかけた。

（３）来庁者及び市職員を対象として、広島及び長崎の黙祷にあわせ、原爆犠牲者へ哀悼の誠を捧げるとともに、恒久平和を祈念して黙祷を捧げるよう庁内放送した。

（４）４度目の核実験（１月６日）を行った朝鮮民主主義人民共和国に対し、抗議文を送付した。（１月１２日）

平成27年度　収支決算書

収入の部　　（単位：円）

科　目	予算額	決算額	差異	附　記
負担金	1,100,000	1,100,000	0	加古川市負担金
参加費	400,000	400,000	0	広島平和の親子ﾊﾞｽﾂｱｰ参加費
繰越金	384,000	384,590	△ 590	前年度繰越金
合　計	1,884,000	1,884,590	△ 590	

支出の部　　（単位：円）

科　目	予算額	充当金額	決算額	差異	附　記	
広島平和の 親子バスツアー費	1,312,000	48,458	1,360,458	0	バス借上料・保険料・宿泊費等	1,248,040
					かたりべ謝礼等	7,500
					写真代	4,300
					感想文集製本費	81,000
					募集要項紙代	19,618
						1,360,458
広島市・長崎市 平和祈念式典参加費	470,000	1,010	471,010	0	広島市平和祈念式典参列旅費	149,240
					長崎市平和祈念式典参列旅費	218,960
					見舞金（広島市・長崎市）	100,000
					参列者保険（広島分）	1,200
					参列者保険（長崎分）	1,200
					返信用切手	410
						471,010
協議会会議費	3,000	0	2,378	622	協議会賄費	1,650
					定例会返信用ハガキ	728
						2,378
原爆関係 啓発用品購入費	50,000	△ 50,000	0	0		0
						0
平和行進受入費	42,000	1,650	43,650	0	平和行進賛助金	30,000
					賄費	13,650
						43,650
雑費	2,000	3,382	5,382	0	消耗品費	5,292
					北朝鮮抗議文郵便代	90
						5,382
予備費	5,000	△ 4,500	0	500		
						0
合　計	1,884,000	0	1,882,878	1,122		1,882,878

収入金額－支出金額＝　　1,712

（平成28年度への繰越金額）